

五十嵐川災害復旧助成事業

概要

平成16年「7.13新潟豪雨」



① 上流区間(諏訪、曲淵地区)左岸の浸水状況



新潟県土木部

雨量及び出水状況

日本海から北陸地方(新潟県)にかけて停滞した梅雨前線に、西日本から東日本を覆った太平洋高気圧の縁を周り込むように暖かく湿った空気が流れ込み、前線が活発化し、新潟県中越地方を中心とした地域に大雨が降りました。

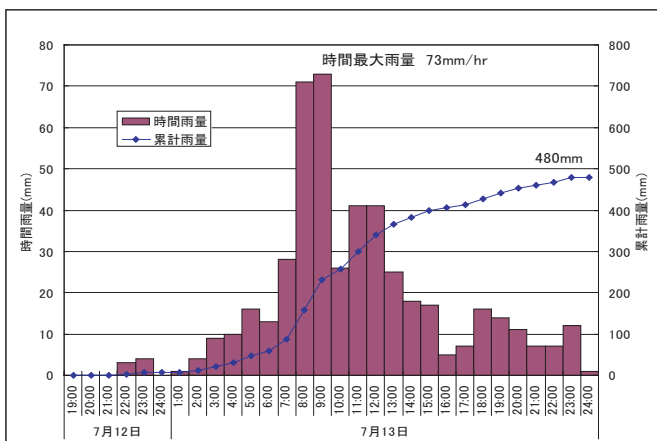
特に五十嵐川上流域では24時間で400mm以上の雨量を記録し、笠堀ダム観測所では7月13日8:00から10:00まで70mm/hr以上の降雨が2時間連続しました。

等雨量線図

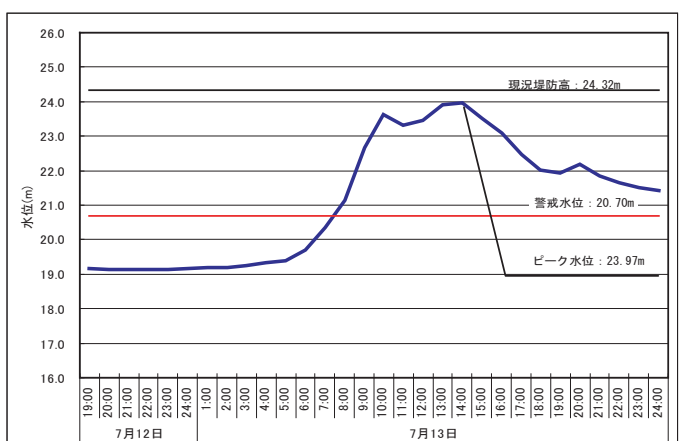


※24時間雨量

笠堀ダム



島潟水位局



② 三竹地区の越水状況



③ 水田の冠水状況(南入蔵付近)

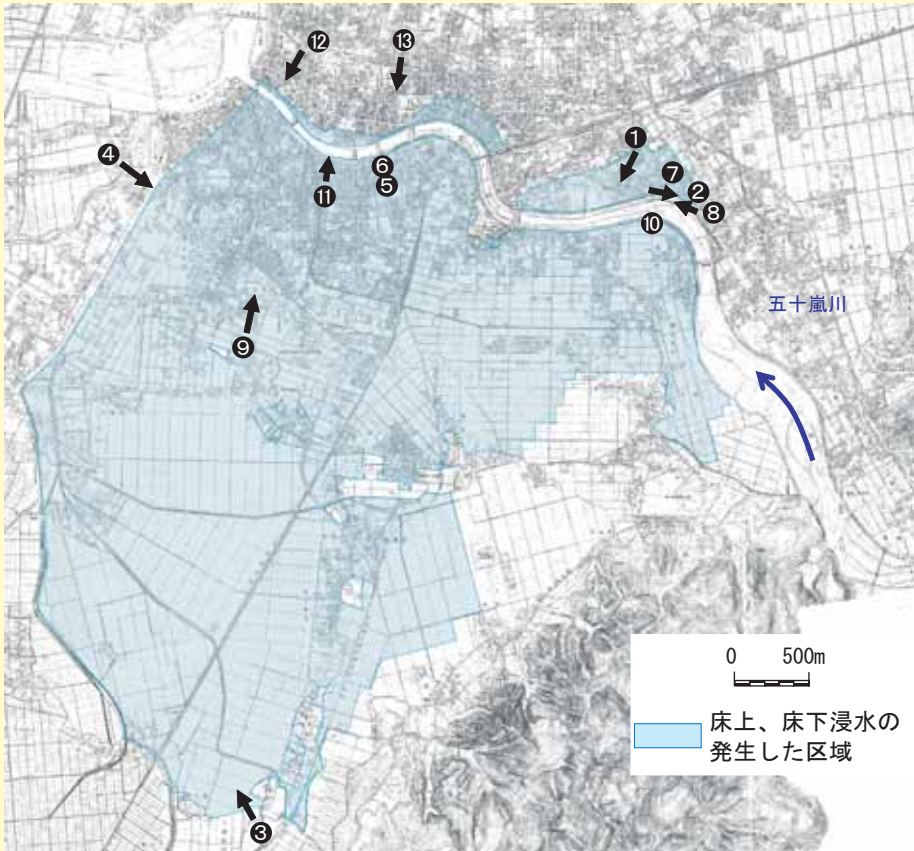


④ 西本成寺、桜木町付近の浸水状況



被災状況

- ① 笠堀ダム観測所(新潟県)では、昭和40年観測開始以来最大の降雨(最大1日雨量)を記録しました。
- 災害の特徴 ② 破堤や越水により周辺民家では床上、床下の浸水による甚大な被害が発生しました。
- ③ 洪水による護岸の欠壊が発生しました。



● 7・13新潟豪雨による五十嵐川下流域浸水被害状況 ●

被災市町村名	浸水面積 (ha)			住家 (戸)			事業所・工場 (棟)			公共施設 (棟)		
	宅地	農地	計	床上	床下	計	床上	床下	計	床上	床下	計
三条市、栄町	490	830	1,320	6,151	689	6,840	609	28	637	79	25	104

事業概要

事業名 災害復旧助成事業

災害復旧助成事業とは、河川の被害が激甚であって、原形復旧を行う災害復旧工事のみでは十分な効果を期待できない場合において、災害復旧事業費に助成費(改良費)を加えて一定計画の下に施行する改修事業です。

事業の方針

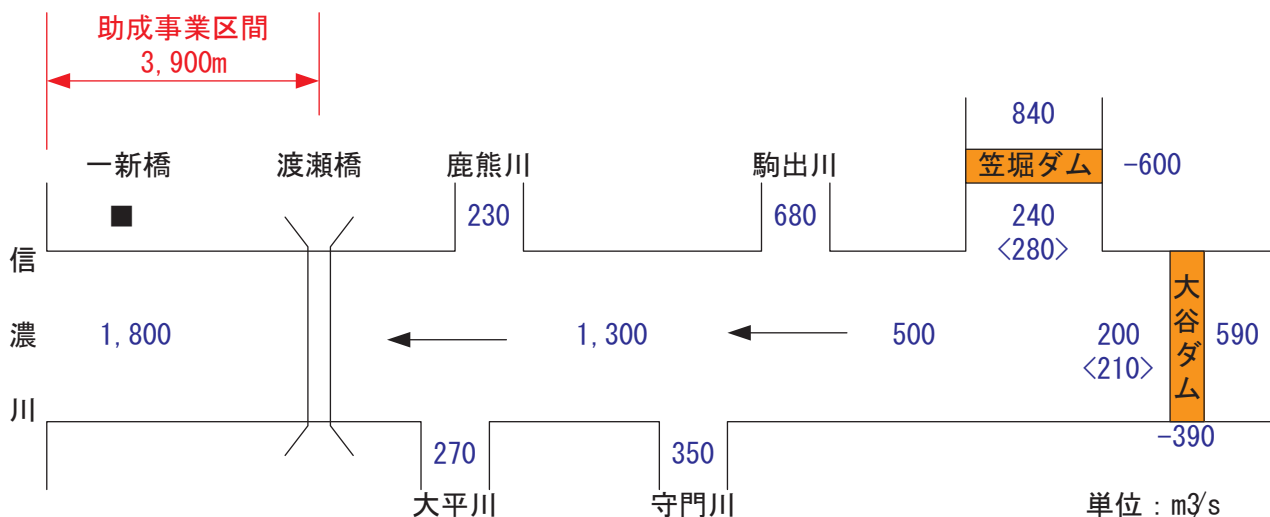
再度災害を防止を図るため、早急に7.13水害規模の洪水に対し安全に流下できるようにすることを目標とします。

整備の方針

- 河積の拡大
洪水の流下する断面を確保するため、築堤、河道拡幅、河床掘削、橋梁の架替を行います。
- 流路の是正
下流の河道蛇行区間においては、洪水がスムーズに流下できるように屈曲部の解消を図ります。
- 河岸侵食の防止
堤防を保護するため、護岸を設置します。
- 堤防強化対策
漏水のおそれがある箇所には漏水対策等を実施します。

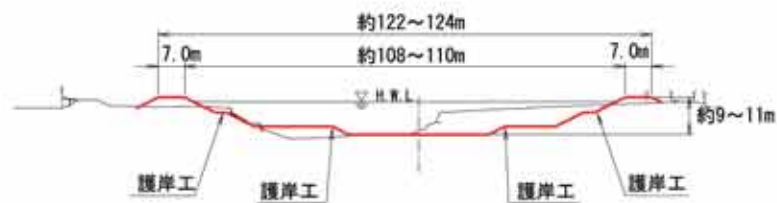
事業計画概要

河川名	1級河川信濃川水系 五十嵐川
施工位置	新潟県三条市本町～諏訪
総事業費	363億円
事業期間	平成16年度～平成20年度
計画諸元	
復旧延長	3,900m
主な工種	
土工(掘削、築堤)	1式
護岸工	延長 3,900m(両岸)
樋門工	6基
橋梁架替工	4橋



単位：m³/s
< >：最大放流量

下流区間標準横断面図



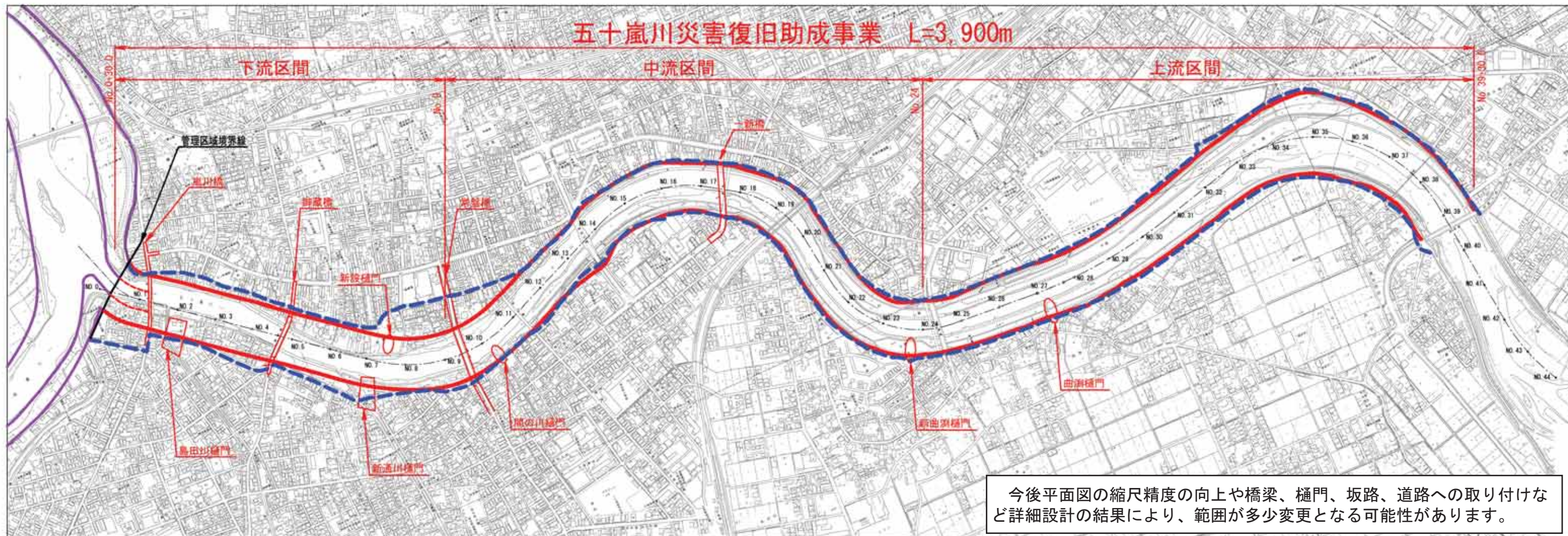
嵐川橋より上流のイメージ図



中流区間標準横断面図



昭栄大橋より下流のイメージ図



諏訪地区、三竹地区より下流(田島橋方向)のイメージ図



上流区間標準横断面図



五十嵐川流域図



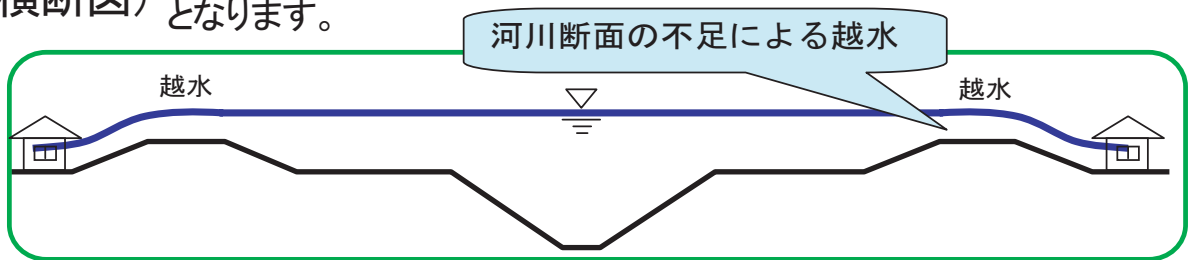
事業効果

河川の断面を拡げることにより、再び7.13水害規模の洪水がきたとしても、安全に流すことが可能となります。

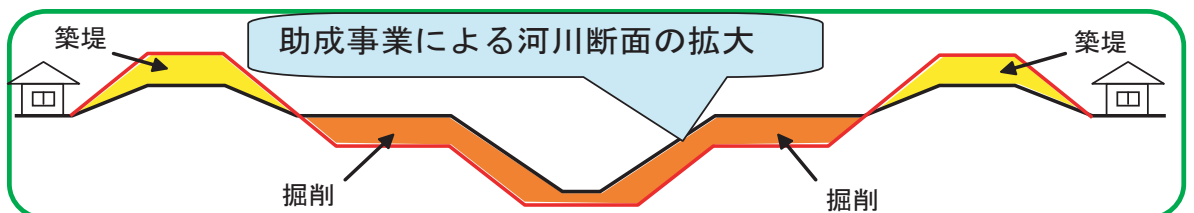
(イメージ横断面図)

これにより、7.13水害規模の洪水から三条市街地を守ることが可能となります。

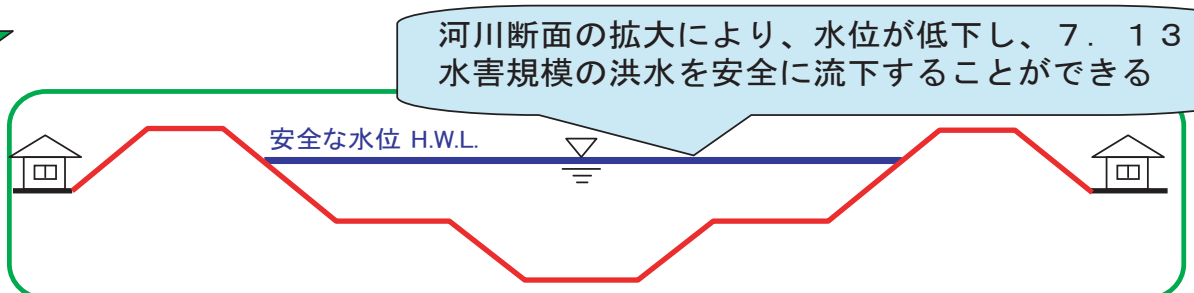
事業実施前



事業実施中



事業実施後





12 下流区間(信濃川合流点付近)左岸の浸水状況



13 中流区間左岸の浸水状況

新潟県土木部河川管理課	〒950-8570	新潟市新光町4-1	Tel 025-285-5511(代表)
新潟県土木部河川整備課	〒950-8570	新潟市新光町4-1	Tel 025-285-5511(代表)
新潟県三条土木事務所	〒955-0046	三条市興野1-13-45	Tel 0256-36-2308(直通)